

## 青年委員長特別賞

# 生業を学び 紡ぐ

静岡県 | 静岡県立浜松工業高等学校 選手…3年生 11名



各地にある卸問屋街は、街の中心的存在であり、活気があふれる場所であった。個人での生業で手の届かない部分の役割を担う機能として卸業は必要不可欠で、物と物、人と人を繋ぐための商業的プログラムでもある。時代とともに変わりゆく事象に対し、このプログラムに「学び」の要素を付加し、「紡ぐ住まい」としての器となるハード面の整備のもと、新たな卸業の姿としてアップデートを図る本提案はとても興味深いものである。

シンプルなスパン計画の中に、Knotを少しずつずらしながら差し込むことで生まれる共有スペースは、空間に変化を与えながら場を確立させている。2階のKnotに於いても中間階に設けることで、視覚的にコンセプトを象徴できる場となっているし、その断面構成が採光・通風に寄与していることも好印象である。上下の関係性はプライバシー動線を確立しつつ、大きな吹抜けを介し空間的に繋がりを得ており、プログラムが切離れないよう仕掛けてある。一方で、2階はプライバシーを保ちつつもオープンに利用できるようにし、地域の方々が建物を回遊しながら施設全体を楽しく学べるものでも良かったかもしれない。



全体的に完成度の高いプレゼンに脱帽であり、敬意をもってこの提案が実現に繋がることを期待してしまおう。  
(山本)

# 女性委員長特別賞

## まちなか農家 農業でつながる地域コミュニティ

山形県 | 山形県立新庄神室産業高等学校 選手…3年生4名



車移動があたりまえの社会となり、郊外の大型ショッピングセンターが買い物する場の主流となっている現代、昔ながらの商店街の空洞化は、多くの地域にとって悩める問題である。その活性化のために、商業施設ではなく、敢えて街中では見ることのない農業を提案しているところが新しい発想である。

オリジナルの放射状シザーズトラスによるユニット形式も興味深い試みである。現実的に気になるのは、六角形のユニットの平面計画では、住宅としての生活部分の居住性は良いのだろうか。居間などの大きな空間では柱があるので快適な空間となるだろうか。半面、小さいユニットでは、囲まれた落ち着く空間にもなりえそうだ。外壁部分では、柱がむき出しになっているため、防火上問題があるのではないかと。窓や扉の計画がされていないので、開口部の計画もきちんとしたほうがよかったと思う。また、集水用の排水管を柱部分に収めるのは難しそうなので無理に入れなくてもよいと思う。

見せる農業では、生産者と消費者のコミュニティが生まれて地域の農産物をアピールできるだろう。企画によっては、子どもたちへの食育



にもつなげていけるのではないかと、発想を広げていける新しく楽しい提案である。(本間)